

## 運動・動作解析学演習

[演習] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 小島 悟 skojima@hoku-iryo-u.ac.jp、桜庭 聡

### 【概要】

運動・動作解析学特論で習得した知識と技術をもとに、リハビリテーション科学領域における身体運動・動作解析関連の論文抄読や、種々の計測機器を用いた実験を行う。

### 【学修目標】

機器を用いた運動・動作解析をリハビリテーション領域の臨床ならびに研究場面で応用するために、実験を通して必要な知識と技術の理解を深め、運動・動作を捉えるための計測・解析手法を身につける。

1. リハビリテーション科学領域における身体運動・動作解析関連論文の内容を解釈できる。
2. リハビリテーション科学領域の対象課題を解決するために必要な計測・解析手法を選択し、実施できる。
3. 計測および解析データを解釈できる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～5	論文抄読	身体運動・動作解析関連の論文抄読を行いながら、実験計画をたてる。	小島 悟 桜庭 聡
6～10	実験	実験計画に基づいて実験を行う。	小島 悟 桜庭 聡
11～15	データ解析およびその解釈	実験データを解析し、その解釈を行う。	小島 悟 桜庭 聡

### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

レポート100%

### 【教科書】

使用しない

### 【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

### 【備考】

指定された文献を予め読んで理解しておくこと（80分）。

授業時に紹介された関連文献を読んで学習を深めること（80分）。

### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

リハビリテーション領域における高度な知識および技術を修得し、対象者が抱える諸問題に対して、科学的根拠に基づいた質の高い臨床実践を展開できる問題解決能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

### 【実務経験】

小島 悟（理学療法士） 桜庭 聡（作業療法士）

### 【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での臨床経験を活かし、リハビリテーション領域における身体運動・動作の解析方法について演習を行う。